

# 大幅に減少 将来負担比率は微増

歳出決算額**157億2,712万円** (△9億6,624万円 (5.8%減))

平成24年度の奥出雲町各会計決算が提出され、決算特別委員会で審査の後、賛成多数で認定しました。

歳出では、消費的経費が増え、投資的経費、義務的経費が減っています。

投資事業としては、町道整備事業5億4,966万円、幼児園整備事業3億7,203万円、観光資源活用事業2億5,591万円、小・中学校の施設整備事業2億4,166万円、防災拠点施設基盤整備事業1億2,754万円など28億8,431万円です。

## 特別会計の決算状況

(単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引残高
町立奥出雲病院事業 (収益的)	19億1,080万	20億2,56万	△9,176万
特別会計 (資本的)	1億872万	3億7,933万	△2億7,061万
国民健康保険事業特別会計	15億6,252万	15億5,696万	557万
後期高齢者医療保険事業特別会計	3億9,231万	3億8,919万	312万
介護老人保健施設事業特別会計	3億5,327万	3億5,327万	0
介護サービス事業特別会計	6億4,714万	6億4,714万	0
訪問看護ステーション事業特別会計	1,953万	1,953万	0
簡易水道事業特別会計	7億5,500万	7億3,790万	1,710万
公共下水道事業特別会計	2億7,420万	2億7,343万	77万
農業集落排水事業特別会計	5億2,267万	5億2,204万	63万
合併処理浄化槽事業特別会計	1億4,050万	1億3,979万	71万
仁多発電事業特別会計	1,372万	1,198万	174万
三井野原スキーリフト事業特別会計	1,865万	1,865万	0
国営農地開発事業特別会計	2,835万	2,835万	0

## 基金残高の状況

(単位：億円)

基金名	21年度	22年度	23年度	24年度	対前年比較
一般会計	19.1	27.3	32.2	35.5	33
財政調整	9.5	9.5	9.5	9.6	0.0
減債	1.3	5.7	7.6	7.5	△0.0
特定目的	8.3	12.1	15.0	18.3	3.2
特別会計	5.1	4.7	4.4	4.4	△0.0
合計	24.3	32.1	36.6	39.9	3.2

## ◇決算特別委員会報告

(要約抜粋)

平成24年度一般会計の決算状況は、歳入総額は15億9千650万円、対前年度比10億1千480万円の減です。歳出総額は15億2千712万円、対前年度9億6千624万円の減です。

実質単年度収支は、6億813万円の黒字となっています。

### ○歳入

歳入決算額160億円の構成比の主なものは地方交付税44%、町債が18%、国・県支出金が11%、諸収入9%、町税が7%の構成です。歳入に占める依存財源の比率は76%で前年度より14%増となり、自主財源の柱である町税は12億977万円、固定資産税の減などにより、前年度比較で120万円の減となっています。

H24年度の町税の不納欠損額は247万円で、滞納差押25件326万円の徴収実績が報告され

ました。滞納額は年々増加傾向にあり、滞納処分可能債権に併せ使用料など一般債権について、各担当課連携して徴収率の向上に努めるよう要望します。

### ○歳出

歳出決算額157億円の性質別構成は、義務的経費が37%の59億円、消費的経費が26%の36億円、投資的経費18%の29億円、その他経費33億円となっています。

地方交付税が、平成27年度以降に段階的に減るなか、収入・支出のバランスを考え、将来負担比率を減らすことを重視する一方、雇用対策・投資事業費を確保し、地域経済の活性化を念頭に、今後も引き続き、効率的な財政運営を期待します。